

県民健康・栄養調査解析、報告書作成の方向性について

1 解析（案）

(1) 一般調査、小児調査

- ・概ね、平成28年度県民健康・栄養調査と同様、国の報告書様式に沿った内容で進める。
- ・一般調査：身体状況調査は各保険者の令和4年度健診データを用いる。
※各保険者から提供のあるデータは「集計データ」となる可能性大。そのため、検査項目数に制限が生じる（評価指標を優先）。
※項目によっては、最終評価が難しいことも考えられる。

(2) 解析について

- ・栄養素等摂取量の算出：BDHQの集計データ受理済み（Excelデータ）
- ・重み付け：地域健康・栄養調査集計用ソフト ver.1.52（国立保健医療科学院）
- ・各保険者から提供のある健診データは6月以降の受理
⇒食事状況調査、生活習慣調査を先に進めていく

2 一般調査・小児調査報告書様式

・構成（別冊参照）

調査の概要（調査様式を含む）

結果の概要（グラフと簡単な説明）

身体状況調査の結果（集計表のみ）

食事状況調査の結果（集計表のみ）

生活習慣調査の結果（集計表のみ）

2次医療圏ごとの結果（地図マッピング）：食事状況調査、生活習慣調査

3 解析部会の設置

- ・各保健所から部会員を2名選出
- ・対象ごとに担当保健所を設定し、解析を行う。

